

テーマ

日韓の言語にまつわる文化を知る

適用分野

言語学、比較文化研究、音声学、社会学、日韓比較文化、言語教育

研究名称

日韓の言語に関わる種々の文化に関する対照研究

氏名所属

金 泰虎 教授
全学共通教育センター

内容

・言語文化とは

日本語と韓国語だけではなく、諸言語にはその背後に付随する独特な文化が潜んでいます。その言語とは、語彙レベルから文章、音声学に至るまでの様々なことが含まれます。日韓に限って言えば、漢字語・固有語・四字熟語・諺及び慣用句、文章の表現、言い回し、ひいては濁音・清音や平音・激音の発音などを取り上げることができます。

・先行研究の視点

一般的に外国人が日本語を習得し駆使する際、表現、発音やイントネーションが不自然になる現象が起きるが、それは概ね母語が日本語学習に影響を与えているのが原因です。従来の研究では、外国語を学習する時、母国語が大きな影響を与えるとの見解は示されています。しかし、これは大きな枠組みでとらえたことであり、具体的に言語に関わる文化が介在している領域別の研究までは至っていないのです。

・言語文化の理解

日本語を習得し、それを学問、商談、観光などに適用する場合、とりわけ日本語に関わる言語文化がわからないと誤解を招いたりします。例えば、商談の際、日本語の「前向きに検討します」というのは、灰色ゾーンの曖昧な返事であるが、日本人同士は否定に近い返事であると判断をします。一方、韓国人の場合は否定よりは肯定的に受け止めますが、これは日本語の言語文化が理解できていないことを意味します。

・言語文化対照の必要性

単なる言語教育をするだけでなく、実際に使う場面を想定した言語文化まで教育を行う必要があります。このような視点、つまり言語文化の教育を行うためには、この教育を支える、とりわけ日韓対照研究は欠かせません。

キーワード

言語文化、言語教育、韓国語、比較研究

連携方法

■ 講演 □ 研修 ■ 研究相談 ■ 学術調査 ■ コメント ■ 共同研究